

令和5年度神奈川 ME-BYO リビングラボ実証事業の評価

1 実施事業者

UHA 味覚糖株式会社

2 実証事業のテーマ

女子高校生に対する食事の重要性とサプリメントに関する栄養セミナーが食の意識・行動変容に与える影響

3 実証事業の評価

本実証事業は、女子高校生を対象に、県内の高等学校1校、35名が参加し、栄養セミナーの実施と鉄を含むグミ状のサプリメントの提供により、適切な食習慣とサプリメント摂取に関するセルフマネジメントの意識変化への効果を検証したもので、計画に沿って実施されたと評価できる。

実証の結果として、セミナー受講により「普段の食事における栄養バランス」や「食事から必要な栄養素を摂ること」への意識が高まったこと、「栄養素をサプリメントより食事から摂る方が良い」と思う生徒が増加したこと等、栄養摂取における食事の大切さとサプリメントの適切な利用への意識変容に繋がったこと、が確認された。専門委員からは、参加した高校生に対して食事とサプリメントを適切に組み合わせる食習慣改善の選択肢を増やした点や、教育アプローチと製品アプローチの両面から段階的に社会実装を進める具体性、について高い評価を得た。

また、学校への報告会においても、現場の先生方から「参加者の意識・食習慣がサプリメント偏重でなく、食事の重要性を生徒が理解してくれた事に安心感を得た」や「今後も同様な実証事業に協力したい」という反響があり、サプリメントに頼るのではなく、日々の食事を意識するきっかけが示された点や、現場に求められるアプローチがされていた点を高く評価する。

今後は、今回の短期的なセミナー受講による効果に加え、長期的な栄養摂取状態や健康意識の変化の継続的な調査等が行われ、また若年層にも受容性が高い製品ラインナップが充実することで、サプリメントに頼りすぎるのではなく、社会実装がより効果的に促進され、教育及び製品の両面によるアプローチでの若年期からの健康的な生活習慣づくりや意識向上への効果を期待する。

令和6年3月27日

神奈川 ME-BYO リビングラボ審査委員会